

今の働き方を見つめ直そう

~ダイバーシティについて~

長野県長野工業高等学校 物質化学科

大方良汰 北村墨 坂本晴哉

テーマの理由

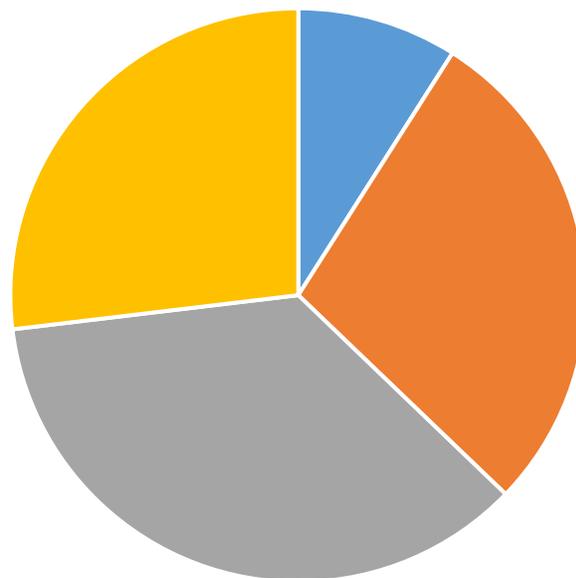
コロナ禍で働き方が変わってきている中、
働き方を見つめ直すため

現状 1

- ダイバーシティについて取り組んでいる企業はわずか37.2%
- 早くからダイバーシティの重要性を経営層が認識し、その推進に取り組んでいる企業も存在している。しかし、大部分の日本企業においてはダイバーシティに関する認知度依然として低いことが明らかになっている。

現状 2

現在お勤めの会社はダイバーシティ & インクルージョンに取り組んでいるか



■ とてもそう思う ■ まあまあそう思う ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

問題点

- チームワークの低下
- 情報伝達の生産性が落ちる
- 稼ぐ力を高める経済力
- 会社になじみにくい

など

今後の課題

少子高齢化による働き手の減少

少子高齢化が進む日本において大きな問題となっている。

自社の経営理念を明確にし、ダイバーシティへの取り組みに対するトップのコミットメントを明らかにする。

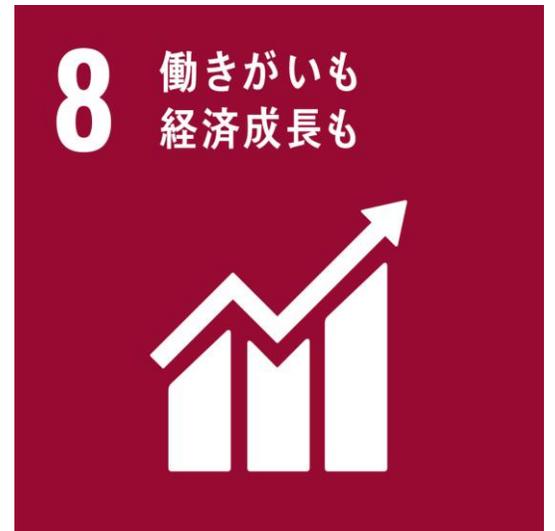
推進担当組織を中心に全社的な実行体制を構築する。

多様な人材をマネジメントしていくには、管理職層に高度なマネジメント能力が要求される。そのための研修やワークショップを開催していく。

SDGsの実現に向けて

～10代からの提言～

- 女性や女児の能力向上は、経済成長と社会開発に欠かせない。
- あらゆる場所における全ての女性及び女児に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。
- 政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。



感想

- ダイバーシティの今後の課題などを詳しく知ることができたとし、ペアと協力してできたので良かった。
- ダイバーシティについて知ることができて良かった。
- SDGs実現のために、働く上で実施した方がよいことは多いと感じた。